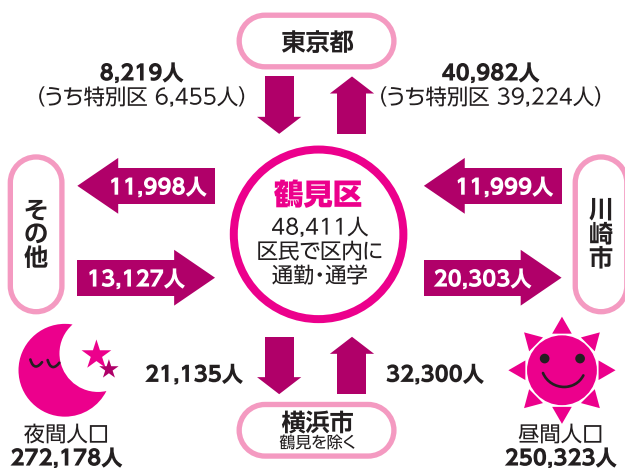


流出人口・流入人口・昼夜間人口

流出人口・流入人口

鶴見区に常住(居住)する15歳以上の就業者及び通学者数は144,457人で、そのうち、区内で就業・通学する者は48,411人、市内他区へ就業・通学する者は21,135人となっています。また、横浜市以外では、鶴見区からは東京都への流出が40,982人と多くなっています。



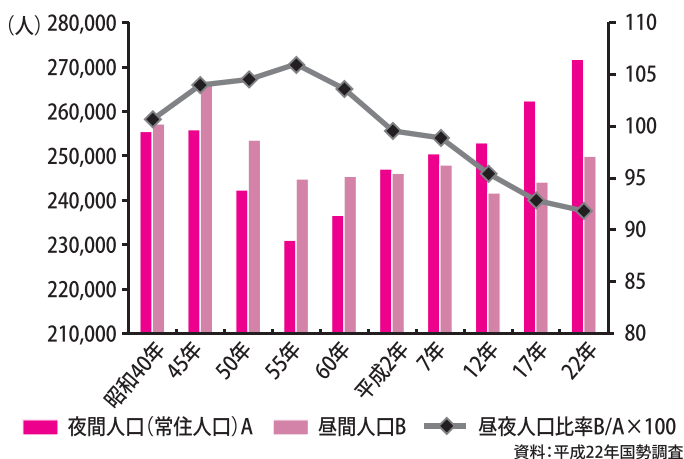
昼夜間人口

平成22年国勢調査で、鶴見区の昼夜間人口比率が低下した一方、横浜市では前回より1.1ポイント増加し、91.5になりました。

平成22年の鶴見区の昼間人口は250,323人、夜間人口は272,178人であり、平成2年以降、夜間人口が昼間人口を上回っています。

また、昼夜間人口比率は92.0で昭和55年の106.1をピークに減少を続けています。

◆昼夜間人口・昼夜間人口比率の推移◆



労働力人口・就業状況

労働力人口・労働力率

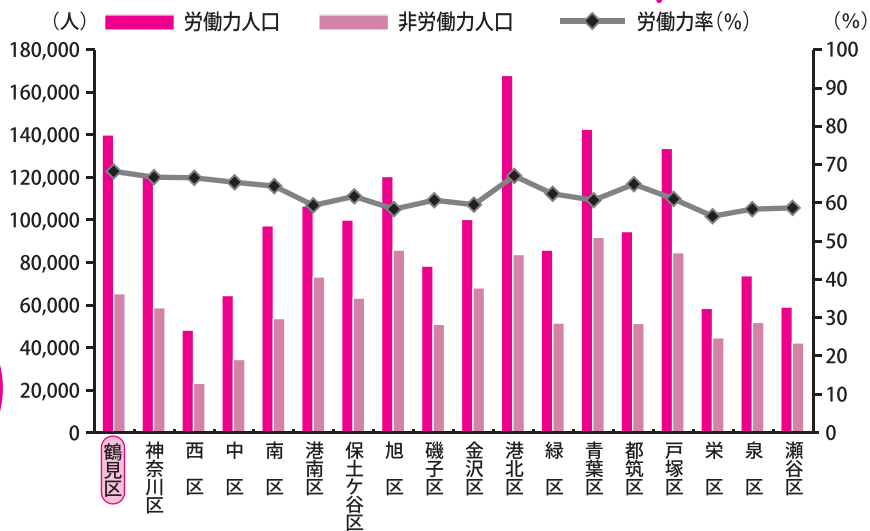
鶴見区の労働力人口は、140,424人で、行政区別にみると、港北区、青葉区に次いで、3番目の多さです。一方、鶴見区の労働力率は68.1%で、18区中1位となっています。



鶴見区の労働力率は18区の中で一番高いんだね!

◆行政区別労働力状態◆

15歳以上人口に占める労働力人口(就業者と完全失業者の計)の割合



就業状況

鶴見区に就業者は、第3次産業、第2次産業、第1次産業の順に多く、産業大分類別にみると、卸売業・小売業の就業者数が20,652人と最も多くなっています。

◆産業大分類別就業者数◆

